



初等部だより 12月号

鎌倉女子大学初等部

令和5年11月30日

第9号

学校行事

部長 勝木 茂

11月は、初旬に行われた1年生～3年生の遠足からはじまり、みどり祭、4年生御殿場宿泊体験学習、そして学習発表会と学校行事が目白押しでした。その様な中、初等部の子どもたちは、それぞれの行事に楽しく意欲的に取り組み、一人ひとりが大きな成長を見せてくれたのではないかと感じています。

さて、学校行事は、諸外国、特に英語圏の国々ではカリキュラム（教育課程）として行われていることはあまり無いようです。日本独特のカリキュラムと言えるのかもしれませんが。

文部科学省小学校学習指導要領によれば、学校行事の教育的目標は、全校又は学年の児童で協力し、よりよい学校生活を築くための体験的な活動を通して、集団への所属感や連帯感を深め、公共の精神を養いながら、集団や社会における生活及び人間関係をよりよく形成するとともに、自己の生き方についての考えを深め、自己実現を図ろうとする態度を養う等となっています。



そして、遠足や集団宿泊学習は、「遠足・集団宿泊的行事」に分類され、その内容は、平素と異なる生活環境にあって、見聞を広め、自然や文化などに親しむとともに、よりよい人間関係を築くなどの集団生活の在り方や公衆道徳などについての経験を積むこととなっています。また、みどり祭や学習発表会は、「文化的行事」に分類され、平素の学習活動

の成果を発表し、自己の向上の意欲を一層高めたり、文化や芸術に親しんだりするようにすることとなっています。（下線部分文部科学省小学校学習指導要領より引用）

それぞれの行事をやり終えての子どもたちの感想を一部紹介いたします。

- ・カンガルーの赤ちゃんが、一えんだまぐらいの大きさをうまれてくるとはおもいませんでした。あんなに大きくなることにおどろきました。おべんとうのおかずもおいしかったし、みんなでおやつを食べるのもたのしかったです。（1年生）
- ・ズーラシアに行きました。さいしょに見たのはインドゾウでした。つぎに、インドライオンは、はく力があってびっくりしました。レッサーパンダとツシマヤマネコがかわいくて少しかってみたく気持ちになりました。（2年生）
- ・みどり祭の芸術鑑賞会は打楽器だけで演奏する「パーカッションパフォーマンスプレイヤーズ」の人たちでした。いろいろなテレビにも出ている有名な人たちで、音楽をたくさん聴けて満足でした。一生の思い出になりそうです。（3年生）
- ・一番楽しかったのはキャンドルファイヤーです。火の神様に火の子たちが「協力の火」「努力の火」「健やかに育つ火」を灯してもらったとき、この二日間、三つのルールをちゃんと守ろうと思えました。（4年生）
- ・学習発表会では、鑑賞のマナーを守って、楽しみながら演奏や鑑賞することを意識しました。二部の四年生の劇では、願いを叶える為に必要なこと、六年生の劇では、人を信じることの大切さがわかりました。自分たちが発表をするときには、自信をもって歌詞をはっきりさせることや、きれいな音色を出すことを意識しました。はじめは少しきん張していましたが、歌ったり演奏したりしていくうちになくなって、楽しみながら合唱と合奏ができました。音楽の授業や、休み時間に練習をしてきたので、今日の学習発表会が成功して、とても嬉しかったです。（5年生）
- ・これまでがんばってきたことが、どの学年からもしっかり伝わってきたと思います。6年の「走れメロス」は、演じている側からしても本当に全力をつくしてやりきりました。見ている側からもよく声が届いて、感動のラストを味わうことができたかなと思います。有終の美をかざることができて本当に嬉しかったです。（6年生）

早いもので明日から12月となります。2学期も残り僅かとなりました。それぞれのお子様の成長を親子で振り返り、がんばったことを十分に褒めてあげていただければと思います。